



3月22日

地域の方々とのふれあい

白鶴保育所では1年間お世話になった地域の方々を招き、感謝祭をしました。園児たちが米を研ぎ、野菜を切ってカレーを作り、お客さんを出迎えました。

園で栽培したレタスに加え、当日の食材は、地産地消をテーマに地域の農家の方から譲っていただいたものです。地元でとれた新鮮な野菜や苺に、みんなで舌鼓を打ちました。

そして、食事の後は一緒に歌ったり、踊ったり、じゃんけんをしたりして触れあいました。大勢の方々の温かい愛情をたっぷりと受けて、白鶴っ子たちはすくすくと育っています。



3月28日

「災害時における救援物資提供の協定書」調印

松前町と四国コカ・コーラボトリング(株)は、地域貢献型自動販売機(メッセージボード掲載型)の製品を無償提供する内容の協定書を調印しました。

この自動販売機は、通常の自販機機能に加え、町内が震度5弱以上の地震又は同等以上の災害が発生した場合などに災害時の情報や全国のニュースを流すことができ、また、避難者に対して遠隔操作により無料提供モードに変更することができるシステムとなっています。

▲役場1階ロビーに設置された地域貢献型自動販売機

3月30日

家族経営協定調印式

東古泉の相原朝さんご家族、早瀬武臣さんご家族の2組が、町長・農業委員会会長・地方局伊予農業指導班班長の立会いのもと、新たに家族経営協定に調印しました。松前町では家族経営を結んでいる農家のご家族は4組になりました。

家族経営協定とは、農業経営に携わる家族員が、経営内において各人(特に女性や若い農業者)の地位及び役割を決め、それぞれの意欲と能力が十分に発揮できる環境をつくるため、家族内で話し合い、協定として文書にすることを言います。



4月3日

「大型商業施設立地推進室」ができました!

新たなまちづくりの核となる大型商業施設の立地を強力に推進していくため、課を越えての組織構成による「大型商業施設立地推進室」を創設しました。松前町は大型商業施設の立地を実現させ、魅力ある新市街地の形成に全力で取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。